

第102回 ほほえみ 開催

9月20日(水)第102回 ほほえみを開催しました。

今回はお楽しみ企画として、ミントマジシャンズクラブの皆様による「マジック」を開催しました。鳩が飛び出したり、マジックでは禁断のタネ明かしをしてくれたり、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

次回は会場が変更になりますので、ご注意ください。

次回のほほえみは、10/18(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります



【がんサロン事務局】

『自分らしく向き合う・・・』

(がん体験記)

「ほほえみ」の皆さま、こんにちは。ながいき梨のことを分け合ったこと、微笑みながら拝読いたしました。

少し前、私の尊敬する医師が天国に召されました。私の中では、切なさ、色んなことを医師として、人として教えて頂ける方でした。自分らしく、人を愛する医師でした。

一人一人、生き方も違います。がんと付き合い方、治療も一つではありません。だけど、がんと診断された時、多くの患者と家族は意思決定という決断をする必要があります。

父が、がんだと診断され、高校3年の私は、大きな病院、治療法を子どもなりに調べました。一番しっかりしていない母に担当医は説明したのですが、勇気を出して担当医に話を聴けば良かったと悩んだのも事実です。

私の相談相手は、父や母の兄弟、姉妹でした。だけど、一番しっかりしていたのは父本人でした。たくさんの決断をひとりですませたことを、娘として後悔しています。

現在の医学では、チーム医療が組まれます。最善な治療法の選択は、本人が一番納得できる方法を選ぶことを医師、セカンドオピニオン、ソーシャルワーカー、カウンセラーなどが勿論、主役は患者本人です。

だけど、自分の真意をチームのどなたかに伝えてみて欲しいのです。自分の揺れ動く気持ちの整理は大切です。そして、病になって、気づくこともたくさんあります。そして、こうやって、出会う人もいます。

友人、知人、患者仲間など、医療者でも、家族でもない第三者に相談することも大事です。悩んでいること、自分が何を大切にしたいのかが見えてくる時があります。

ほほえみ、北海道の何か所のサロン、がん相談支援センター、いつでも、どんな時も寄り添ってくれる場所と支援してくれる人たちがいます。

皆さまが大きな安心と信頼を生みだし、その関係が強められますように、遠く、関西より祈っています♪

(和歌山県/女性/胃がん/家族)

